

吾妻山の火山活動解説資料（平成 21 年 5 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いていますが、地震活動などに特段の変化はありません。火口内では噴気、火山ガスの噴出等が見られますので警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いています。上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気の高さは 50～300m で推移しています。火口内では噴気、火山ガスの噴出等が見られますので、警戒が必要です。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 5～6）

広域の GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

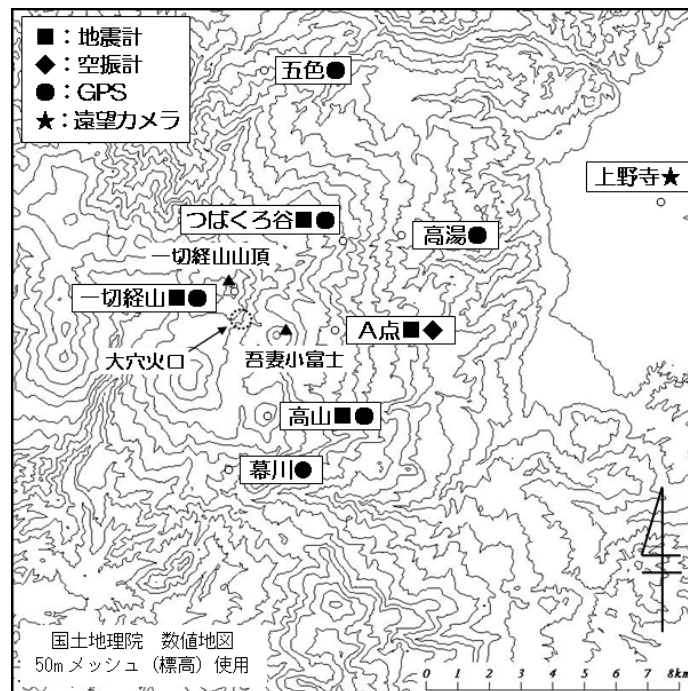


図 1 吾妻山 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.sendai-jma.go.jp/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 6 月分）は平成 21 年 7 月 7 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。



図2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状況（5月3日16時35分頃）
 福島市上野寺に設置した遠望カメラによる（大穴火口から東北東約14km）
 大穴火口からの噴気の高さは300m。

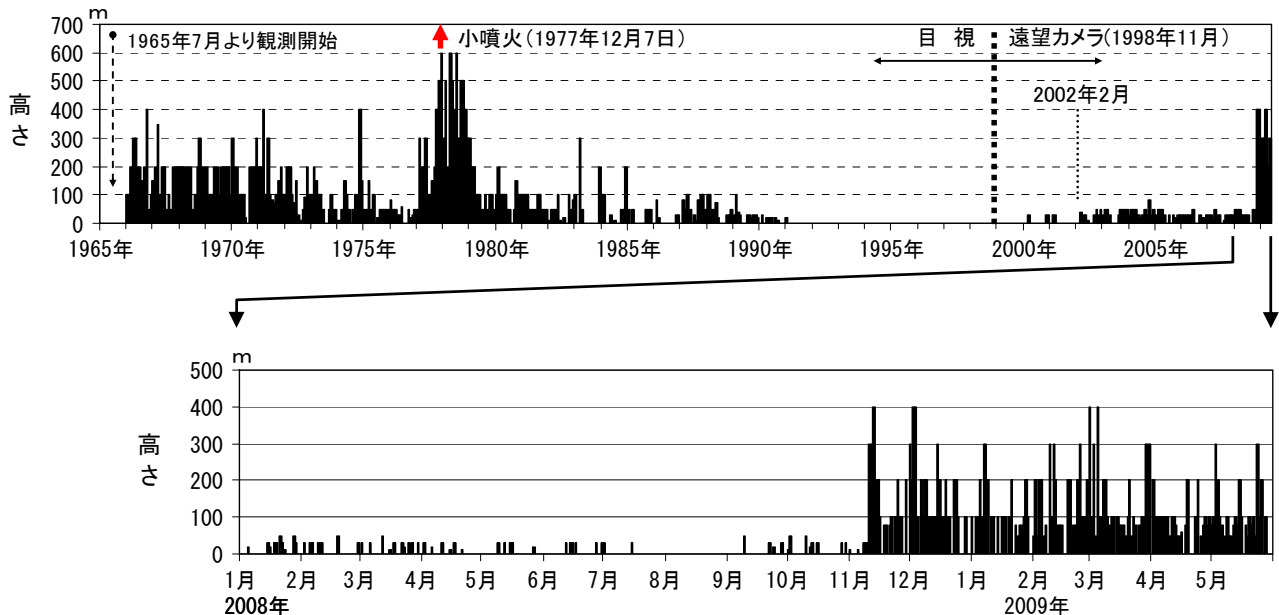


図3 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965年7月～2009年5月）
 下段：日別最大噴気高（2008年1月～2009年5月）

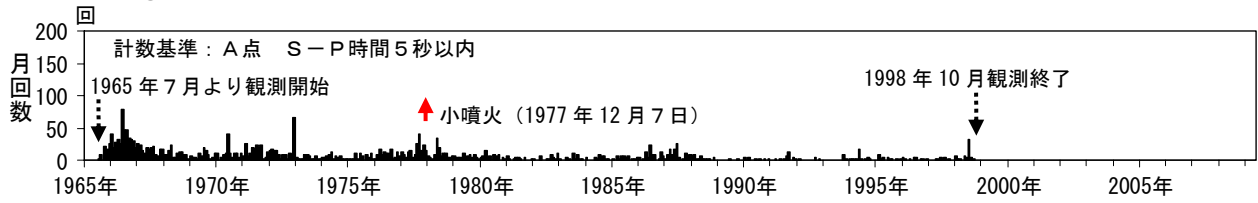
1998年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約20km）からの目視観測です。

1998年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約14km）による観測です。

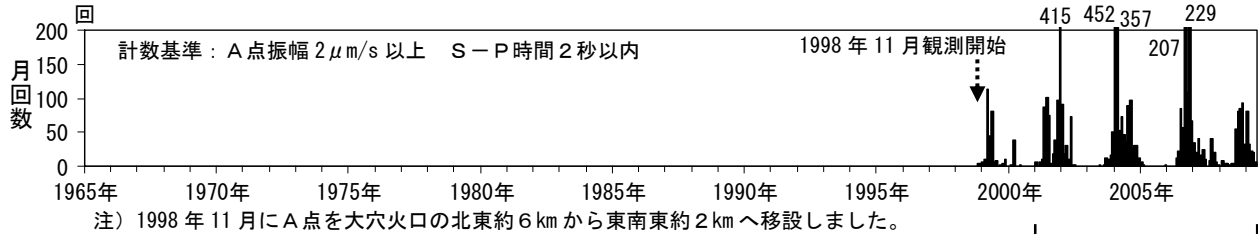
2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。

2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

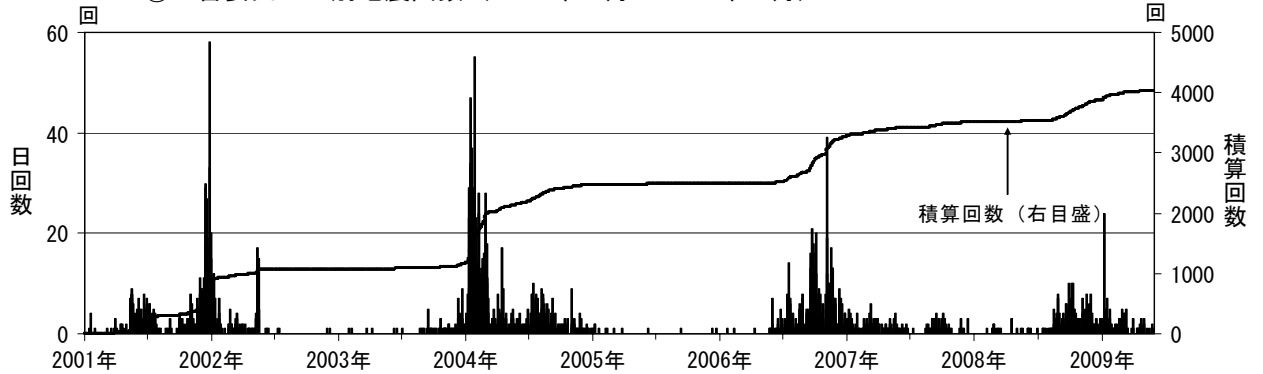
① 吾妻山 月別地震回数（1965 年 7 月～1998 年 10 月）



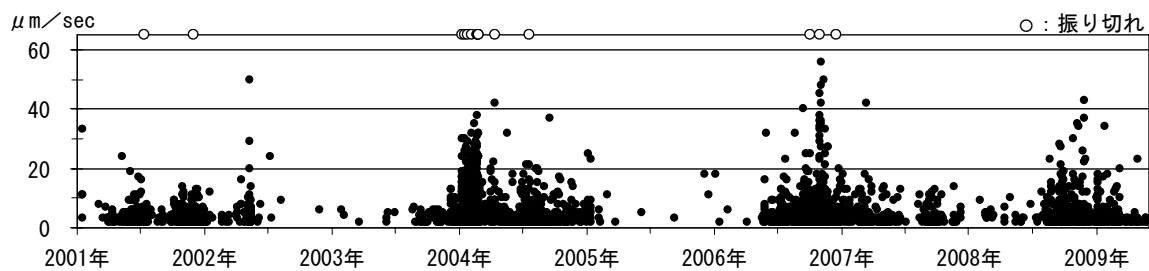
② 吾妻山 月別地震回数（1998 年 11 月～2009 年 5 月）



③ 吾妻山 日別地震回数（2001 年 1 月～2009 年 5 月）



④ 吾妻山 A 点最大振幅の推移（2001 年 1 月～2009 年 5 月）



⑤ 吾妻山 日別微動回数（2001 年 1 月～2009 年 5 月）

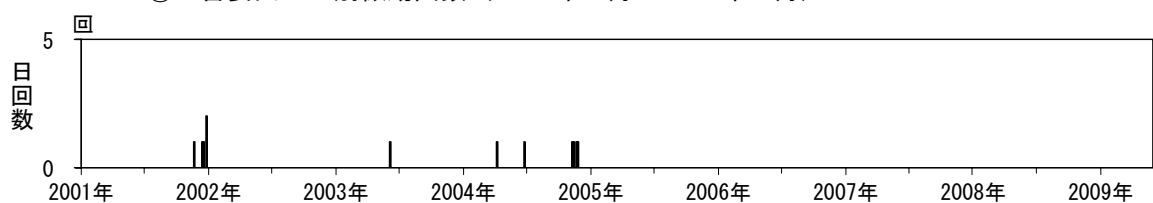


図 4 吾妻山の地震活動及び微動回数の推移

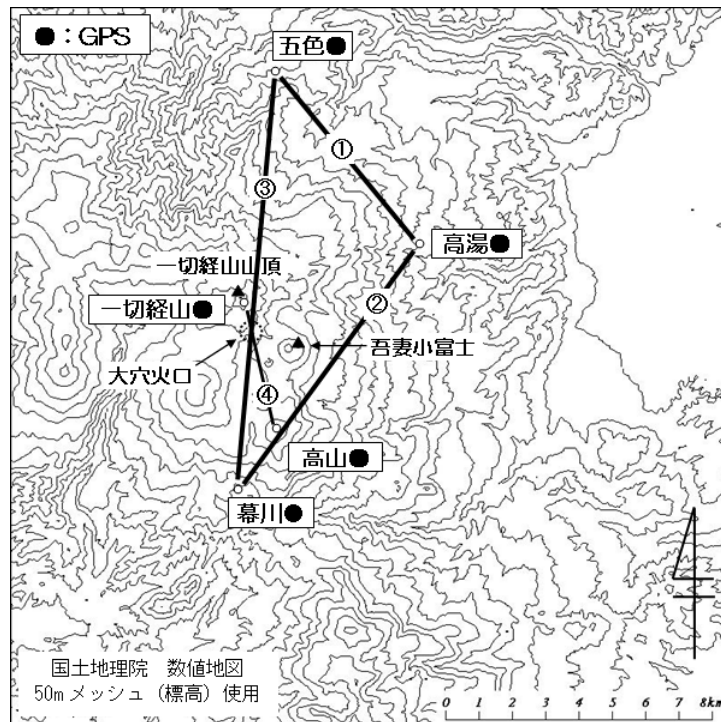


図5 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線①～④は図6の①～④に対応しています。

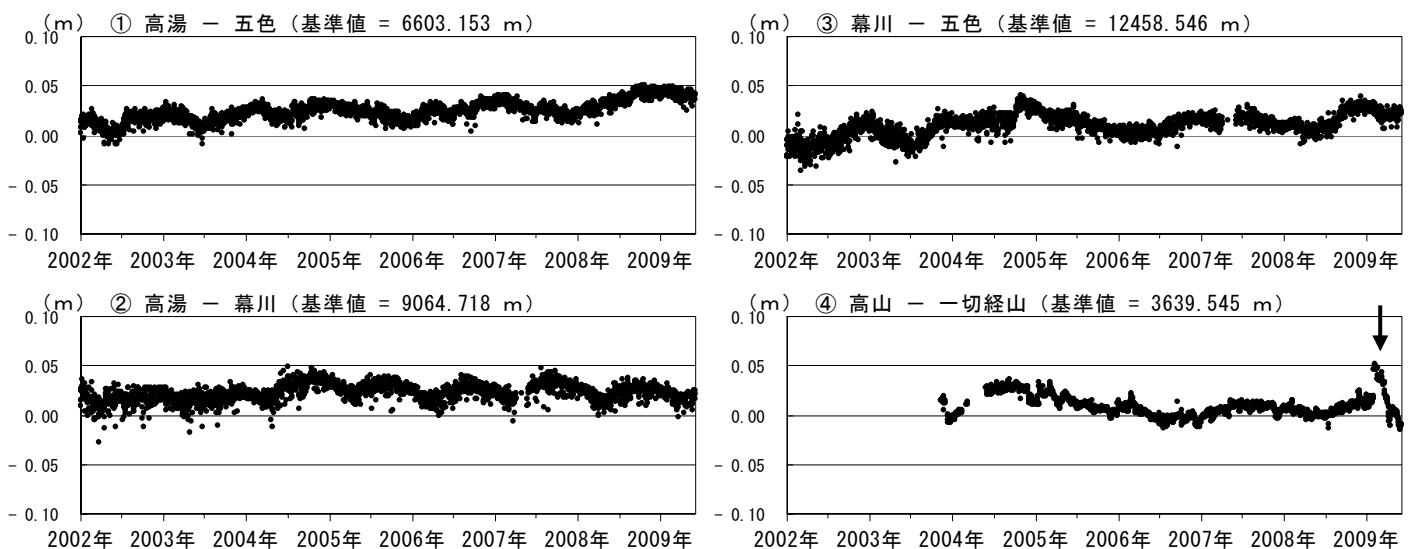


図6 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002 年 1 月～2009 年 5 月）

①～④は図5の GPS 基線①～④に対応しています。

幕川観測点が障害のため、一部に欠測があります。

④の「高山－一切経山」で 2009 年 2 月頃からの基線変化（↓）について、現在のところ原因は不明ですが、その他の観測データに特段の変化はなく、火山活動に起因した変化ではないと思われます。